

## サイエンスコミュニケーター養成副専攻とは

本副専攻は、文系理系を問わず参画学部(文学部、社会学部、法学部、経済学部、生命医科学部)の学生を対象に、科学分野でおこる社会問題を正しく読み解き、解説できる人材を養成する学部横断型副専攻(教育プログラム)です。地震などによる災害、原発事故、環境問題、STAP細胞問題、医学部や製薬企業などのデータ改ざん・論文ねつ造などが大きな社会問題となっている今日、科学リテラシーをもつ人材は、企業を含め広く社会から求められています。

修了必要単位数:20単位

履修体系	必要単位数
サイエンスリテラシー科目群	12単位以上
コミュニケーター関連科目群 ※各選択グループ(選択(1)~選択(4))から算入されるのはグループごとに上限4単位まで	8単位以上
選択(1)【生命系】	
選択(2)【文・社会・心理系】	
選択(3)【法・政策系】	
選択(4)【経済系】	
合計	計20単位以上

「同志社大学ビジョン2025」で掲げられたテーマに即した教育プログラムであり、大きな成果が期待できる取組に対して大学が事業推進を支援するALL DOSHISHA教育推進プログラムにも選定されています。

## 「取材・インタビュー実践講座」「未知型探索ビジネスワークショップ」の登録手続きについて

【受講資格】 副専攻履修許可者のみ受講可。

【その他履修条件】 両科目は必ずセットで登録すること。いずれか1科目のみの登録は不可。  
履修中止は春学期履修中止期間に両科目を中止することが可能。  
秋学期履修中止期間に「未知型探索ビジネスワークショップ」のみを中止することは不可。

【講義日程】

### 取材・インタビュー実践講座

隔週で土曜2~3講時に実施する。

### 未知型探索ビジネスワークショップ

夏期休暇期間中(8月17日~9月10日)に複数回の取材活動を実施する(詳細日程は講義開始後に決定)。  
秋学期開始後は土曜2~3講時に隔週で授業を行う。

(注意) 両科目においては、取材対象の都合により講義日程変更の可能性がある。

【定員】 20名

【登録申請】 学修支援システム(DUET)から先行登録申請  
申請期間:3月30日(月)10時~4月3日(金)17時  
結果発表:4月4日(土)0時に学修支援システム(DUET)にて発表する。

## 問合せ先



京田辺キャンパス教務センター(生命医科学部)  
TEL:0774-65-7054  
E-Mail:jt-semjm@mail.doshisha.ac.jp

同志社大学サイエンスコミュニケーター養成副専攻ホームページ  
[https://biomedical.doshisha.ac.jp/science\\_communicator/science\\_communicator.html](https://biomedical.doshisha.ac.jp/science_communicator/science_communicator.html)



文部科学省「実社会課題に対応するコミュニケーションの推進事業」選定  
—京都発世界に通じるオンリーワン技術の継承—

# 京都の 技術を 君が伝える

サイエンス  
コミュニケーター  
養成副専攻



## 1つでも興味があれば次のページへ!



他学部の学生とプロジェクトに  
取り組み、議論したい。



コミュニケーション能力  
を向上させたい。



京都が持つ隠れた  
技術を知りたい。



「人に伝える仕事」に  
興味がある。

# 京都の技術を「見つめ」「伝える」人になる。

2020年度  
2科目新規開講

従来の教室での座学中心の授業形態とは異なった実践型・参加型の学習機会を重視したプロジェクト・ベースド・ラーニング(PBL)科目でありサイエンスコミュニケーター養成副専攻の参画学部(生命医科学部、文学部、社会学部、法学部、経済学部)の学生が学部の枠を超えて議論を展開しながら、協同で成果を出すことを目的とした科目です。

4月 ▶ 5月 ▶ 6月 ▶ 7月 ▶ 8月 ▶ 9月 ▶ 10月 ▶ 11月 ▶ 12月 ▶ 1月 ▶ 2月 ▶

講義・グループワーク

取材

コンテンツ制作

発表

春学期  
開講

## 取材・インタビュー実践講座

### 科目概要

アナウンサー、記者、ジャーナリストから「伝えること」を学びながら、取材及び映像コンテンツ制作に必要な実践的なスキルを身につけ秋学期の「未知型探索ビジネスワークショップ」における取材企画書を作成します。

京都の伝統産業で培われた技術や現代の最新技術を社会に対して広く、わかりやすく発信(=見える化)することにより、各企業、団体、研究所が保有する技術の相互連携を促し、京都の経済や産業、また、市民生活の活性化に繋がる新たな価値が創出されることを目標とします。

### プログラム内容・スケジュール(予定)

- オリエンテーション、グループワーク、チームビルディング
- グループワーク(サイエンスコミュニケーターとは、履修目的の明確化)
- グループワーク(テーマ設定 課題の明確化の重要性)
- ゲストスピーカー講演(ジャーナリスト)
- 取材対象担当者講演
- グループワーク(取材対象担当者への質問など)
- ゲストスピーカー講演(映像編集担当者)
- グループワーク(取材企画書案作成)
- 撮影作業・編集作業講義
- 撮影作業・編集作業体験
- グループワーク(取材企画書案作成)
- 取材企画書プレゼンテーション、講評 春学期の振り返りと総評、秋学期に向けてのスケジュール確認



本科目は株式会社京都放送(KBS京都)の竹内弘一キャスターを中心に講義・ワークを実施する予定です。

夏期集中  
と  
秋学期開講

## 未知型探索ビジネスワークショップ

### 科目概要

春学期に「取材・インタビュー実践講座」で身につけたスキルを活かしながら取材活動を行い、取材内容をまとめた映像コンテンツ(ならびに本科目の活動内容をまとめたポスターやパンフレット)を作成します。

取材対象者との打合せや調整作業等を通じて「対話・調整能力」を育成し、単に発信するだけではなく、その先の新たな価値創出を意識させることにより「共創のためのコーディネーション機能」を育成することを目的としています。登録者は、当該科目での活動内容がどのような地域課題の解決や新たな価値創出に繋がるのかを具体的に意識しながら成果物を作成することが求められます。

### プログラム内容・スケジュール(予定)

- 学外での取材活動 × 複数回
- 取材活動、グループワーク(ポスター作成 プレゼンテーションについて)
- 取材活動、グループワーク(ポスター作成)
- 成果物作成、グループワーク(ポスター作成)
- 成果物作成、中間報告、グループワーク
- 成果物作成、追加取材、グループワーク
- 成果報告、発表(学内)
- 成果報告、発表(学外)

その他、ビジネスフェアへの参加や高校への出前授業に挑戦する可能性があります。

京都市産業技術研究所や  
京都の企業が保持する「技術」を取材し  
新たな価値を掘り起こす!

